

<p>教育目標</p>	<p>教育基本法・学校教育法の精神に則り，県教育委員会の基本方針を踏まえ，「自律・責任・創造」の校訓のもと，平和的な国家及び社会の建設に奉仕し，人権と平等を重んじる全人的人間形成を図るとともに，生徒の能力・適性と社会の要請に応じた専門知識・技術を習熟させ，汗と心を重んじる質実剛健，意気盛んな将来のスペシャリストを育成する。</p>				
<p>経営方針</p>	<p>社会人としての基礎を培うという観点に立ち，家庭・地域及び関係機関・団体との連携を密にしながら，「21世紀のふるさとの海を拓く」生徒づくりを目標に，師弟同行，率先垂範の姿勢で実践活動を推進して教育目標の実現を図る。</p> <p>(1) 「マンネリは衰退である。工夫と改善を・・・」</p> <p>(2) 諸業務の目標を明確にし，適切な内部評価を行い，外部評価への説明責任を果たす。</p> <p>(3) 全職員が組織体の一員として共通理解，共通実践に努める。</p> <p>(4) 資格取得指導を充実するとともに個に応じた進路実現を図る。</p> <p>(5) 特別活動や部活動を活性化し，積極的に生徒指導に努める。</p> <p>(6) 学力の向上を図るため指導法の工夫・研究に努める。</p> <p>(7) 全ての教育活動において，人権同和教育及び道徳教育を推進し，「命の大切さ」と「他人を思いやる心」の育成に努める。</p> <p>(8) 水産教育の広報活動を積極的に推進し，生徒募集定員確保に努める。</p> <p>(9) 交通指導を徹底し，交通事故・違反の根絶を図る。</p> <p>(10) 全ての教育活動は安全を第一義とする。</p>				
	<p>評価 [4：十分達成できている 3：概ね達成できている 2：やや不十分である 1：不十分である]</p>				
	<p>領域</p>	<p>重点課題</p>	<p>評価</p>	<p>総合評価</p>	
<p>重点努力目標</p>	<p>学校運営</p>	<p>①各部並びに個々の「明確な年度目標」と客観的な組織評価の実施</p> <p>②入学者定員の確保（新たな工夫と少子化に向けた戦略）</p> <p>③S P H（スーパープロフェッショナルハイスクール）の展開</p> <p>④澁刺とした生徒集団づくり（誇りと自信を持たず挨拶の意識づけ）</p> <p>⑤心に届く生徒指導・支援（不本意退寮者・退学者0を目指す）</p> <p>⑥正しい倫理観と道徳心を育てる。</p> <p>⑦資格取得の指導の徹底（学んだことを実践できる教育）</p> <p>⑧進学・就職指導の充実（情報収集，進路3年計画，キャリア教育の充実）と進路実現100%</p> <p>⑨職員の技術向上と資質向上（研修・研究の推進，服務規律の厳正確保）</p> <p>⑩実習船教育の充実と，「シンボル」である実習船の積極的なPRと活用</p>	<p>2 2</p> <p>3 3</p> <p>3 3</p> <p>3 3</p> <p>3 3</p> <p>3 3</p> <p>3 3</p> <p>3 3</p> <p>2 2</p> <p>3 3</p>	<p>3</p>	<p>3</p>

		評価 [4 : 十分達成できている 3 : 概ね達成できている 2 : やや不十分である 1 : 不十分である]					
領域		重点課題	評価		総合評価		
各部の目標及び 努力事項	学校運営	①校務全般の企画・運営及び、行事計画の検討・立案	3	3	3	3	
		②来校者の学校案内、情報発信の充実（HPの随時更新）	3	4			
		③時間割、教育課程、学校評価、公簿、渉外広報等との連絡調整	3	3			
	教務部	生徒募集	①行政（市町村教育委員会・中学校）との連携（中高連絡会、夜間説明会の企画と運営）	3			4
			②保護者・地域への理解（PTA研修視察や夜間説明会への参加者増を目指す）	3			3
			③小・中学生へのPRと学校理解を目的に、『どこでも授業』の推進（昨年度1,092名並の参加者確保を目指す）	2			3
	各部連携		①PTA・同窓会と連携した学校運営と生徒募集の充実を図る	3			3
			②教育課程係や研修係と連携し、アクティブラーニングに関する研修やスーパープロフェッショナルハイスクール（SPH）導入に向けた教育課程の検討に取り組む	2			3
			③学習指導係を中心とした基礎学力の定着・向上への取り組みと、評価方法に関する検討	2			3
	生徒指導部		①基本的な生活習慣の確立（毎日の校門立哨指導）1か年皆勤率 70%以上 、礼儀礼法…止まって挨拶 100%	4			3
			②服装頭髪指導（月1回以上の検査実施、全職員によるあらゆる場面での指導、生徒会との連携）本検査合格率毎回 100% 、年間平均合格率 95%以上	3			4
			③非行防止と早期発見（学校楽しいーと、SNSチェックシート 学期1回 実施、関係各所との連携）積極的生徒指導による問題行動の未然防止と再発防止（問題行動発生率 10%以下 、再発率 0% ）	3			2
			④いじめ防止の各種啓発及び、アンケート 年間6回以上 実施（発見は 1件でも多く 、解消率は 100% ）	4			4
			⑤集団での好ましい人間関係の育成（ 学期1回 の教育相談週間・いじめ問題等を考える週間の設定）悩み解消率 100%	3			3
⑥不登校生に対する指導（実態把握と学校適応委員会を中心に共通理解の基で指導）解消率 100%			2	2			
⑦交通安全教育（ 学期1回 の車体検査と 年間3回 の講習実施）交通事故・違反発生率 10%以下			3	2			
⑧列車・バス通学生への指導（通学生会 年間1回 実施、全校・学年・科集会での啓発）トラブル発生率 0%			4	4			
⑨下宿生指導（下宿生集会を 年間1回 、職員巡回訪問を 月1回 実施し、生活状況把握）トラブル発生率 0%			3	4			
⑩生徒会活動の充実と部活動育成 地域行事への生徒参加率（ボランティア 2回以上 、祭 30%以上 ）、部活動加入率 80%達成			3	3			

	評価 [4 : 十分達成できている 3 : 概ね達成できている 2 : やや不十分である 1 : 不十分である]					
	領域	重点課題	評価		総合評価	
各部の目標及び努力事項	寄宿舎	①自律して自立する寮生育成（点呼遅刻0，資格・検定（年間1個（科目）合格），頭髪服装検査違反0）	2	2	3	3
		②礼儀礼法の習得（挨拶，敬語などは含羞を捨て，堂々とする格好良さへの意識改革）	3	3		
		③敬愛の定着（率先垂範・団結力・生きる力（問題解決能力）を養う）	3	3		
		④非行防止と早期発見（寮則厳守，学期毎のアンケート実施，非行から仲間を守る意識の定着）	2	2		
		⑤保護者および地域（外部）との連携および情報発信（HPの刷新，メルマガ活用，寮新聞年5号発行）	2	3		
		⑥環境整備のために内部連携を強化し，寮生を育てられる環境を整備（早期発見，即時対応）	3	4		
	進路指導部	①適切な指導による，卒業生及び修了生の進路希望実現100%	3	3	3	3
		②外部講師，卒業生等による進路に関する講演の実施	3	3		
		③履歴書作成・面接・小論文指導の徹底	3	3		
		④LHR実施日の1週間前には資料を提供し，教材研究に役立ててもらおう。	3	3		
		⑤職場見学，インターンシップの積極的な実施	4	4		
		⑥就職・進学相談及び情報・資料の提供	4	4		
		⑦2か月に1回の「進路通信」の発行及び「進路のしおり」の作成	4	4		
		⑧大学，短期大学志望者に対する計画的な指導の充実及び進路実現を目指す。	3	2		
	保健指導部	①保健関係諸帳簿の整理・保管，健康センターに関する事項など，的確な事務処理	4	4	3	3
		②各種健康診断の円滑な実施と事後処理，保健だよりを通じての保護者への情報提供	4	4		
		③保健所や医療機関と連携した感染症等への予防の徹底と，早期終息のための取組	3	3		
		④自己健康管理能力の啓発や伸長のための企画・推進（歯科受診率を高める）	3	3		
		⑤体育に関する諸行事の充実（体育祭，持久走大会，新体力テスト等）	4	4		
		⑥体力の全面的な向上（授業冒頭での継続的な補強運動の実施）	3	3		
		⑦防火・防災計画，緊急時の対応マニュアル等の策定と周知，適切な実施	4	4		
		⑧教職員・生徒の危機意識高揚のための企画・推進（一次救命講習の実施および防火・防災避難訓練の充実）	4	4		
		⑨校内美化の推進（清掃の徹底，ゴミの分別の徹底，花壇の管理等）	4	3		
		⑩学校安全全体計画に基づく安全指導の徹底と適切な点検・整備	3	3		

	評価 [4 : 十分達成できている 3 : 概ね達成できている 2 : やや不十分である 1 : 不十分である]					
	領域	重点課題	評価		総合評価	
各部の目標及び努力事項	実習船部	①安全を第一に考えた実習実施に向けて尽力し、事故・怪我ゼロを目指す。	3	2	3	3
		②沿岸航海での一般公開・どこでも授業や、体験航海への参加者200名を目標とし、生徒募集に繋げる。	3	3		
		③実習船の PR 活動（食品工学科と協力するコンカツプロジェクト・稚内寄港）を積極的に行い、代船建造に繋げる。	3	3		
	事務部	①県費会計については、適正で効率的な予算執行を行うため、根拠の確認並びに3か月毎の業務の進捗状況の確認を行う。私費会計についても、定期的（学期に1回）に、監査を行う。	3	3	3	3
		②学校の施設・設備面では、毎月(安全点検前又は後)、校内の巡回を行い、生徒並びに職員が安全に生活できるように、その維持・推進に努める。(特に産振施設・設備の保全)	3	3		
		③事務室は学校の顔という意識（服装、接客、電話等の対応）を常に持ち、毎月の確認を行う。	2	2		
各科・コースの目標及び努力事項	海洋科 海洋技術 コース	①進学・就職指導の充実と100%進路実現を目指し、そのための資格取得を充実させる。	3	4	3	3
		②乗船実習や各種実習の安全かつ効果的な計画・実施を図り、実習中の事故等を0とする。	3	4		
		③水産・海洋教育の充実を図り、地域や産業界及び大学等から求められる人材育成を目指すため、漁業・水産業後継者及び大学進学者それぞれ1名を目指す。また、専攻科の質を高め、定員を確保する。	3	3		
	海洋科 機関コース	①進学・就職指導の充実及び100%進路実現を目指す。	3	3	3	3
		② ROV（水中ロボット）の研究及び技術向上に着手し、コースの魅力向上を図る。	3	4		
		③各種検定及び資格試験の受験者全員合格を目指す。	3	3		
	海洋科 栽培工学 コース	①進学・就職指導の充実と、個に応じた100%の進路実現を目指し、そのための資格取得を充実させる。	3	3	2	3
		②ダイビングや各種実習において、安全かつ効果的な計画・実施を図り、実習中の事故等を0とする。	2	3		
		③どこでも授業をはじめとして地域連携や広報活動を積極的に推進し、生徒募集に努める。	2	3		
	情報通信科	①授業や資格取得指導を通して、社会人として必要となる基礎素養を身につけさせる。	3	3	3	3
		②進学・就職指導の充実と科の特徴（ここでしか取れない資格）を生かした進路実現を目指す。	3	3		
		③科新聞の配布範囲の拡大やどこでも授業・高校説明会などを積極的に担当し、入学者40名を目指す。	3	4		
食品工学科	①入学者40名を目指すために、科新聞の作成(年6回)と近隣中学校への配布、魅力的などこでも授業と高校説明会を行う。	3	3	3	3	
	②「コンカツプロジェクト」や「かつお捌き隊」のさらなる発展を研究し、様々な製品開発や地域活性化の活動を通じて地域企業との連携を積極的に行い商品化を目指す。	3	4			
	③進路実現100%を目指すため資格取得や基礎学力の指導だけでなく進学・就職の指導を充実させる。	3	3			